

事務事業名	消毒液生成装置管理事業										事務事業No.	812 - 21					
1. 基本情報																	
担当部	担当課			担当係		作成者職名		作成者氏名		所属長職名		所属長氏名					
市民環境部	環境整備課			環境推進係		主事補		野中 あゆみ		課長		尾形 彰貞					
施策体系	総合計画	政 策	8	その他													
		施 策	1	その他													
		基本事業	2	新型コロナウイルス感染症対策													
	その他の計画		個別計画		-												
根拠法令・条例・要綱等	なし																
事業開始年度	令和2年度			事業終了年度		-		事務事業類型		ソフト事業							
実施手法	全部直営			補助金等の支給		なし		実施計画期間		-							
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）																	
概要	新型コロナウイルス感染症対策を含む、庁内及び各施設等で適切な除菌対策と感染予防を継続して実施するために、生成機器と除菌水の維持管理を行うもの。																
対象	働きかける相手・もの	市の施設を使用する市民															
手段	方法・働きかけ（活動指標）	生成機器の除菌水の適正な次亜塩素酸濃度及びp h 管理のため、キャリブレーションを実施する。															
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	生成機器、除菌水を適正に管理し、市民が安心して公共施設を利用できるようする。															
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）																	
指標名		単位	指標の説明（算式等）				前年度実績	本年度実績	次年度見込								
生成機器のキャリブレーション		回	1 日（開庁日）のキャリブレーション回数				1	1	1								
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）																	
指標	除菌水の使用課数	単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込								
		課	10		目標値		11	17	18								
説明	除菌水の使用課数（把握分）	方向性	達成目標年度		実 績		17	18									
		維持	毎年度														
指標		単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込								
					目標値												
説明		方向性	達成目標年度		実 績												
指標		単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込								
					目標値												
説明		方向性	達成目標年度		実 績												
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）																	
経費区分	一般会計	経常経費						特別会計	-								
予算科目・事業	会計	1	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費		目	2	予防費		
	大	99			その他の予防費			中	9			消毒液生成装置管理費			他	0	事業
投入人員 （当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	(R2以降)		前年度実績（千円）		本年度実績（千円）		増減理由（10%以上の場合）				次年度予算（千円）						
	正職員		0.07	人	557	0.05	人	408					0.07	人	571		
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	再任用短		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	会計年度 1級フル		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
1級パート		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0			
2級パート		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0			
人件費計（A）			557		408		-				571						
事業費	直接事業費（B）		19		145						464						
	総事業費（A+B）		576		553						1,035						
直接事業費のうち の主な歳出内訳		需用費		19		145						464					
		-		0		0						0					
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		0		0						0						
	国・県支出金		0		0						0						
	市債		0		0						0						
	一般財源		576		553						1,035						
	その他（ ）																

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点		評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価		やや低い	生成機器を市が所有しているため、市が実施する必要があるが、現状一般向けではなく、市所管施設に対する使用となり、間接的に利用者（市民）の感染防止対策として実施している。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症になったので、必要性が薄れ需要が減少。
効率性 評価		高い	市の公共施設の感染予防及び感染防止対策に係る費用であるため、市の負担割合は適正である。
有効性 評価		やや低い	生成機器を使用することで、安価で除菌水を生成、使用することができ、感染症の発生時や災害時等にも迅速に対応できる。 ニーズが低いため、インフルエンザやコロナウイルス感染の防止策としても活用してもらおうよう推奨していく。
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	なし
	拡充		
	一次評価	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策
現状維持			
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度にも実施できたこと、などを記入			
適性に使用できるように、生成機器の設置場所に使用方法等（希釈）を記載したマニュアルを設置			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
〔成果〕	毎朝キャリブレーションを行うなど、機器の適正な管理に努め、効果的で安全な、除菌水を提供することができた。 選挙事務においても、記載台や鉛筆の消毒に使用するなど、感染予防対策として活用できた。 各課設置のアルコールチェッカーの除菌にも活用されている。		
	〔課題〕 アルコール除菌水と比較すると安価で使用することが可能であることから、物品等の除菌として使用するには価格的には最適であるが、感染症5類になったことから、除菌に対する行動が薄れている中、積極的な使用の促進が難しいと考えられる。		
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性		〔理由〕 公共施設所管課には除菌水の効果について正しい知識を習得し、感染症予防、感染症防止対策及びアルコールチェッカーの消毒用として活用を進める。	
現状維持			
コスト投入の方向性		〔理由〕 生成に必要な薬剤及び機器の管理に必要な予算の確保。	
現状維持			
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		公共施設所管課への除菌水活用の推奨	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		－	
評価変更理由	成果の方向性		
	廃止		
	コスト投入の方向性		
	縮小		